



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月4日

上場会社名 株式会社イチネン

コード番号 9619

代表者 (役職名) 代表取締役社長 黒田 倅 稔

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室担当 池本 典 弘

上場取引所 東証・大証第1部

URL <http://www.ichinen.co.jp>

TEL (06)6309-7890

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期財務・業績の概況 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	39,587	(△3.2)	1,985	(33.3)	1,797	(40.1)	1,157	(41.0)
19年3月期第3四半期	40,878	(21.6)	1,489	(4.0)	1,283	(△2.9)	820	(19.8)
19年3月期	54,406	—	2,266	—	1,956	—	1,049	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	52	56	52	35
19年3月期第3四半期	38	38	37	69
19年3月期	48	91	48	03

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第3四半期	74,519		11,631		15.6		508	25
19年3月期第3四半期	78,820		10,546		12.6		458	83
19年3月期	76,607		10,754		13.2		465	51

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円			
20年3月期第3四半期	2,787	△ 334	△ 2,524	2,068
19年3月期第3四半期	270	△ 1,487	△ 967	2,780
19年3月期	2,408	△ 1,743	△ 3,678	2,140

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	—	6 00	—	7 00	13 00
20年3月期	—	7 00	—	—	14 00
20年3月期(予想)	—	—	—	7 00	

3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	54,000	△0.7	2,960	30.6	2,730	39.5	1,620	54.3	72	50

平成20年3月期の通期業績予想については、平成19年11月8日に発表した中間決算短信の予想を変更しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 期中における持分法適用関連会社の異動 : 有
- (3) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (4) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(参考) 個別業績の概要

平成20年3月期第3四半期個別業績（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

(1) 個別経営成績

(金額表示：百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	23,263	833	869	484

(2) 個別財政状態

(金額表示：百万円未満切捨)

	総資産	純資産
	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	55,924	10,271

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、企業業績の改善や堅調な設備投資を中心に回復基調で推移したものの、昨年夏に発生しました米国のサブプライムローン問題や原油価格の高騰などにより先行きに不透明感が強まっております。

このような経済環境のもと、当社グループは、「リース事業」「自動車メンテナンス受託事業」「燃料販売事業」「ケミカル事業」「パーキング事業」の5つの各事業を多角的・多面的に展開し、事業間のシナジー効果を追求するだけでなく、めまぐるしく移り変わるニーズに対して事業内容を有機的に変化させ、当社グループの安定した経営と着実な成長を維持するための連邦制経営を推進し企業価値の向上を目指しております。

特に「ケミカル事業」「パーキング事業」は今後の当社グループの成長戦略において重要事業と位置づけております。

「ケミカル事業」につきましては、メイン商品である燃料添加剤を国内市場だけでなく、今後は海外市場においても拡販してまいります。平成20年4月に上海に駐在員事務所を開設し燃料添加剤の事業を中国で展開いたします。

「パーキング事業」につきましては、現在、運営しております駐車場の用地調達は資本効率化経営を重視し、そのほとんどが賃貸借契約で行っておりますが、今後は「パーキング事業」の業績の安定化を図るため、長期間安定的に運営可能な駐車場として駐車場用地を取得してまいります。

当第3四半期の連結売上高は395億87百万円(対前年同期比3.2%減)、営業利益は19億85百万円(対前年同期比33.3%増)、経常利益は17億97百万円(対前年同期比40.1%増)、四半期純利益は11億57百万円(対前年同期比41.0%増)となりました。

事業の種類別セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、下記のセグメント別売上高は、内部売上高消去前の金額であります。

（リース事業）

リース事業につきましては、引き続き競合他社との価格競争が厳しい中、採算重視を第一に中小口規模の企業を中心とした新市場の開拓を行っております。また、既存取引につきましても中期経営計画に掲げている「量から質への転換」の方針に基づき、不採算取引の改善を徹底しております。これらの不採算取引の発生は、車両の使用期間が年々長期化していることが原因としてあげられます。使用期間の長い車両は走行距離も超過状態にあることが多く、突発的な整備費用の発生がメンテナンス費用を増加させる原因となっております。経費抑制を目的に依然として再リース契約の希望は多くありますが、再リース契約にともない発生が予想される経常的・突発的メンテナンス費用についての説明を徹底することにより、契約時の粗利益率改善に取り組んでおります。これらの取組みにより当第3四半期の粗利益率は改善しております。また、引き続きリース契約終了後の車両処分が好調に推移しております。

これらの結果、リース契約高は143億1百万円(対前年同期比15.1%減)、リース未経過契約残高は484億34百万円(対前年同期比7.9%減)となりました。

損益面では、売上高は203億43百万円(対前年同期比0.1%減)、営業利益は13億56百万円(対前年同期比18.6%増)となりました。

（自動車メンテナンス受託事業）

自動車メンテナンス受託事業につきましては、平成17年8月から20ヵ月の期間で官公庁等から受託した大口メンテナンス契約が平成19年3月末で終了しました。一方、新たなサービスとして平成19年4月からイチネンBPプラネット株式会社の車体修理関連事業がスタートしました。車両整備と車体修理、車両処分を三位一体とするトータル機能を新しい強みとして確立し、取引先へ提案を行っております。また、リース事業と同様に採算面の改善を図ることに重点を置き、走行過多車両の入替えを促進し量から質への契約の改善に努めました。一方、原油価格高騰を受け、タイヤ・バッテリー・オイル等の価格が高騰していることもあり徐々にメンテナンスコストに影響が出ております。また、北海道・東北等の降雪地域では冬物タイヤへの交換時期にあたり、これらの費用が季節原価として発生しております。

これらの結果、メンテナンス受託契約高は36億57百万円(対前年同期比7.7%減)、メンテナンス未経過契約残高は74億1百万円(対前年同期比4.8%増)となりました。

損益面では、官公庁等から受託した大口メンテナンス契約が平成19年3月末で終了したことにより、売上高は57億49百万円(対前年同期比15.3%減)、営業利益は1億88百万円(前年同期は1億17百万円の営業損失)となりました。

（燃料販売事業）

燃料販売事業につきましては、主力である自動車用燃料給油カードによるガソリン等の販売は、顧客から利便性が評価され販売数量は前年同期比17%増となりました。しかし、原油価格高騰が続く中、元売りからの仕入価格は上昇コストアップとなりました。この対応としまして販売価格への転嫁を今迄以上に速やかに実行したものの、一方で看板価格の上昇幅が少ないセルフスタンドに影響されたことにより損益面においては厳しい状況となりました。

この結果、売上高は22億69百万円（対前年同期比7.1%減）、営業損失は0百万円（前年同期は1億44百万円の営業利益）となりました。

（ケミカル事業）

ケミカル事業につきましては、世界的原油価格高騰が続く中、重油から粗悪重質油や低品位石炭等の安価な燃料への転換やガス化、および地球温暖化対策に伴うバイオマスボイラへの燃料転換等が進んでおり、主力製品である工業薬品関連薬剤も大きな影響を受けております。その影響もあり、メイン商品である燃料添加剤の販売は前年同期比でやや減少となりました。しかし一方では、石炭添加剤、消泡剤、マリン（船舶）関係の薬品などが順調な伸びを示し、紙パ関係の薬品も徐々にではありますが需要が増えており、工業薬品全体では、好調な結果に終わりました。

他の分野では、表面処理技術の確立と営業推進によって、防水型携帯電話部品関連で引き続き大きな伸びとなりました。

この結果、売上高は91億7百万円（対前年同期比1.1%増）、営業利益は5億34百万円（対前年同期比29.9%増）となりました。

（その他事業）

その他事業のうち、中核となるパーキング事業につきましては、新規開拓よりも採算が低下している既存物件の収益改善に取り組みました。10月から12月で契約の見直し20件、解約による撤退28件を実施しました。これらの取り組みにより当第3四半期の粗利益率は改善しております。また、平成19年12月末現在で駐車場管理件数は432件、管理台数は10,215台となりました。

損益面では、売上高はパーキング事業では増加しましたが、平成19年4月にイエローハットの店舗を閉鎖したことにより25億30百万円（対前年同期比5.5%減）となっております。営業利益はパーキング運営におけるのれん費用1億43百万円の負担もあり、75百万円の営業損失（前年同期は59百万円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

【資産、負債及び純資産の状況】

資産は、リース資産の減少等により、前期末に比べて20億88百万円減少し、745億19百万円となりました。

負債は、当社グループ全体でキャッシュマネジメントサービスを導入、グループの余剰資金を有効に活用し有利子負債削減に取り組んだ結果、有利子負債が減少し、また仕入債務の減少等もあり、前期末に比べて29億65百万円減少し、628億88百万円となりました。

純資産は、子会社である㈱タイホーコーザイを株式交換により完全子会社化したことによる資本剰余金の増加、四半期純利益による利益剰余金の増加により、前期末に比べて8億76百万円増加し、116億31百万円となりました。なお、㈱タイホーコーザイの完全子会社化に伴い少数株主持分はなくなりました。

【キャッシュ・フローの状況】

当第3四半期末における現金及び現金同等物残高は、前期末に比べて72百万円減少し、20億68百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、リース資産の取得等によるリース資産の増加△81億64百万円を減価償却費112億円1百万円が上回ったこと等により27億87百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、保険積立金の解約による収入及び関連会社株式の売却による収入等がありましたが、有形無形固定資産の取得による支出等により△3億34百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による支出及び社債の償還による支出等が借入金の借入による収入を上回ったこと、自己株式の買取による支出が発生したこと等により△25億24百万円となりました。

○ 添付資料

- （要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書、（要約）四半期連結株主資本等変動計算書、（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、通期におきまして、平成19年11月8日付「平成20年3月期中間決算短信」に記載いたしました当期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の業績予想は変更しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 期中における持分法適用関連会社の異動
従来持分法適用関連会社でありました株式会社三洋カーシステムは、当社が平成19年12月27日付で所有全株式を売却したことに伴い、持分法適用関連会社ではなくなりました。
- (3) 会計処理方法における簡便な方法の採用
該当事項はありません。
- (4) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
当連結会計年度より、法人税法の改正に伴い、社用設備にかかる固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。
なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(千円未満切捨)

期別 科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)		増減 (△印減)		前期末 (平成19年3月 期末)
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額
(資産の部)		%		%		%	
I 流動資産	16,331,615	20.7	15,061,029	20.2	103,402	0.7	14,957,627
1. 現金及び預金	2,820,626		2,068,402		△112,014		2,180,416
2. 受取手形及び売掛金	6,594,344		6,659,435		270,560		6,388,875
3. リース・メンテナンス等未収入金	2,515,207		2,278,722		△31,305		2,310,028
4. 前払費用	2,191,303		2,055,649		214,172		1,841,477
5. その他	2,210,133		1,998,820		△238,010		2,236,831
II 固定資産	62,463,951	79.3	59,404,982	79.7	△2,186,270	△3.6	61,591,253
(1) 有形固定資産	48,387,666	61.4	45,529,020	61.1	△2,467,460	△5.1	47,996,480
1. リース資産	39,123,793		36,192,101		△2,515,282		38,707,384
2. 土地	5,085,478		5,140,647		87,820		5,052,826
3. その他	4,178,394		4,196,271		△39,998		4,236,270
(2) 無形固定資産	7,355,468	9.3	7,506,214	10.1	448,603	6.4	7,057,611
1. リース資産	145,987		146,639		△1,921		148,561
2. のれん	6,532,560		6,800,268		591,630		6,208,637
3. その他	676,921		559,306		△141,105		700,411
(3) 投資その他の資産	6,720,816	8.6	6,369,747	8.5	△167,414	△2.6	6,537,161
1. 投資有価証券	2,255,514		2,000,980		△331,200		2,332,181
2. 長期前払費用	1,365,043		1,287,074		△63,409		1,350,483
3. 繰延税金資産	900,176		692,078		67,914		624,164
4. その他	2,200,082		2,389,613		159,281		2,230,331
III 繰延資産	24,863	0.0	53,177	0.1	△5,897	△10.0	59,075
資産合計	78,820,430	100.0	74,519,189	100.0	△2,088,766	△2.7	76,607,956

期別 科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)		増減 (△印減)		前期末 (平成19年3月 期末)
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額
(負債の部)		%		%		%	
I 流動負債	36,577,468	46.4	34,075,689	45.7	1,186,771	3.6	32,888,918
1. 支払手形及び買掛金	7,776,191		6,541,252		△1,253,907		7,795,159
2. 短期借入金	18,014,605		14,418,459		△1,151,757		15,570,216
3. 短期社債	6,120,000		8,250,000		3,570,000		4,680,000
4. リース・メンテナンス等前受金	3,418,762		3,094,239		△194,419		3,288,658
5. その他	1,247,908		1,771,738		216,855		1,554,883
II 固定負債	31,696,229	40.2	28,812,407	38.7	△4,151,888	△12.6	32,964,296
1. 社債	6,060,000		6,940,000		△2,900,000		9,840,000
2. 長期借入金	24,119,536		20,806,120		△720,548		21,526,668
3. その他	1,516,692		1,066,287		△531,340		1,597,628
負債合計	68,273,697	86.6	62,888,097	84.4	△2,965,117	△4.5	65,853,215
(純資産の部)							
I 株主資本	9,797,013	12.4	11,667,184	15.7	1,668,095	16.7	9,999,089
1. 資本金	2,107,505		2,126,150		6,270		2,119,880
2. 資本剰余金	3,133,282		4,267,317		1,121,660		3,145,657
3. 利益剰余金	4,713,946		5,734,339		842,980		4,891,358
4. 自己株式	△157,721		△460,623		△302,815		△157,807
II 評価・換算差額等	103,315	0.2	△37,477	△0.1	△145,156	△134.8	107,678
1. その他有価証券評価差額金	103,315		△37,477		△145,156		107,678
III 新株予約権	5,850	0.0	1,385	0.0	1,385	-	-
IV 少数株主持分	613,553	0.8	-	-	△647,973	△100.0	647,973
純資産合計	10,546,732	13.4	11,631,091	15.6	876,351	8.1	10,754,740
負債純資産合計	78,820,430	100.0	74,519,189	100.0	△2,088,766	△2.7	76,607,956

(注) 増減は、当第3四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(千円未満切捨)

期別 科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)		増減 (△印減)		前期 (平成19年3月 期)
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額
I 売上高	40,878,415	100.0	39,587,695	100.0	△1,290,720	△3.2	54,406,459
II 売上原価	31,876,783	78.0	30,393,606	76.8	△1,483,177	△4.7	42,264,056
売上総利益	9,001,631	22.0	9,194,088	23.2	192,457	2.1	12,142,403
III 販売費及び一般管理費	7,511,845	18.4	7,208,477	18.2	△303,367	△4.0	9,876,306
営業利益	1,489,786	3.6	1,985,611	5.0	495,824	33.3	2,266,096
IV 営業外収益	130,863	0.3	124,210	0.3	△6,653	△5.1	153,698
V 営業外費用	337,460	0.8	312,415	0.8	△25,044	△7.4	463,387
経常利益	1,283,189	3.1	1,797,405	4.5	514,216	40.1	1,956,407
VI 特別利益	325,265	0.8	295,351	0.8	△29,913	△9.2	438,043
VII 特別損失	226,490	0.5	528,788	1.3	302,297	133.5	483,103
税金等調整前四半期(当 期)純利益	1,381,964	3.4	1,563,969	4.0	182,005	13.2	1,911,346
法人税、住民税及び事業 税	396,077	1.0	503,960	1.3	△107,883	△38.0	501,345
法人税等調整額	32,645	0.1	△259,967	△0.6	292,613	896.3	144,206
少数株主利益	132,355	0.3	162,824	0.4	30,469	23.0	215,868
四半期(当期)純利益	820,885	2.0	1,157,151	2.9	336,266	41.0	1,049,926

(注) 増減は、当第3四半期と前第3四半期との比較で表示しております。

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期会計期間（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(千円未満切捨)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	2,023,850	3,049,627	4,190,076	△157,576	9,105,978
当四半期変動額					
新株の発行	83,655	83,655	—	—	167,310
剰余金の配当	—	—	△256,475	—	△256,475
役員賞与	—	—	△40,540	—	△40,540
四半期純利益	—	—	820,855	—	820,855
自己株式の取得	—	—	—	△144	△144
株主資本以外の項目の当四半期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当四半期変動額合計	83,655	83,655	523,870	△144	691,035
平成18年12月31日残高	2,107,505	3,133,282	4,713,946	△157,721	9,797,013

	評価・換算差額等		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計			
前期末残高	94,946	94,946	—	163,672	9,364,596
当四半期変動額					
新株の発行	—	—	—	—	167,310
剰余金の配当	—	—	—	—	△256,475
役員賞与	—	—	—	—	△40,540
四半期純利益	—	—	—	—	820,885
自己株式の取得	—	—	—	—	△144
株主資本以外の項目の当四半期変動額（純額）	35,369	35,369	5,850	449,881	491,100
当四半期変動額合計	35,369	35,369	5,850	449,881	1,182,135
平成18年12月31日残高	130,315	130,315	5,850	613,553	10,546,732

当第3四半期会計期間（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

（千円未満切捨）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	2,119,880	3,145,657	4,891,358	△157,807	9,999,089
当四半期変動額					
新株の発行	6,270	6,270	—	—	12,540
剰余金の配当	—	—	△314,171	—	△314,171
四半期純利益	—	—	1,157,151	—	1,157,151
自己株式の取得	—	—	—	△1,011,938	△1,011,938
株式交換	—	1,115,390	—	709,122	1,824,513
株主資本以外の項目の当四半期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当四半期変動額合計	6,270	1,121,660	842,980	△302,815	1,668,095
平成19年12月31日残高	2,126,150	4,267,317	5,734,339	△460,623	11,667,184

	評価・換算差額等		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計			
前期末残高	107,678	107,678	—	647,973	10,754,740
当四半期変動額					
新株の発行	—	—	—	—	12,540
剰余金の配当	—	—	—	—	△314,171
四半期純利益	—	—	—	—	1,157,151
自己株式の取得	—	—	—	—	△1,011,938
株式交換	—	—	—	—	1,824,513
株主資本以外の項目の当四半期変動額（純額）	△145,156	△145,156	1,385	△647,973	△791,744
当四半期変動額合計	△145,156	△145,156	1,385	△647,973	876,351
平成19年12月31日残高	△37,477	△37,477	1,385	—	11,631,091

前連結会計年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（千円未満切捨）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	2,023,850	3,049,627	4,190,076	△157,576	9,105,978
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	96,030	96,030	—	—	192,060
剰余金の配当（注）1、2	—	—	△256,475	—	△256,475
利益処分による役員賞与（注）1	—	—	△40,540	—	△40,540
当期純利益	—	—	1,049,926	—	1,049,926
連結子会社増加に伴う剰余金の減少	—	—	△51,628	—	△51,628
自己株式の取得	—	—	—	△230	△230
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	—	—	—	—	—
連結会計年度中の変動額合計	96,030	96,030	701,281	△230	893,110
平成19年3月31日残高	2,119,880	3,145,657	4,891,358	△157,807	9,999,089

	評価・換算差額等		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等 合 計			
平成18年3月31日残高	94,946	94,946	—	163,672	9,364,596
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	—	—	—	—	192,060
剰余金の配当（注）1、2	—	—	—	—	△256,475
利益処分による役員賞与（注）1	—	—	—	—	△40,540
当期純利益	—	—	—	—	1,049,926
連結子会社増加に伴う剰余金の減少	—	—	—	—	△51,628
自己株式の取得	—	—	—	—	△230
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	12,732	12,732	—	484,300	497,033
当四半期変動額合計	12,732	12,732	—	484,300	1,390,144
平成19年3月31日残高	107,678	107,678	—	647,973	10,754,740

（注）1. 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

（注）2. 平成18年11月の取締役会決議による配当に係るものであります。

(4) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(千円未満切捨)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	前期 (平成19年3月期)
		金 額	金 額	金 額
I：営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		1,381,964	1,563,969	1,911,346
減価償却費		11,538,722	11,201,166	14,970,126
貸倒引当金の増減額		△67,567	41,362	△427,497
受取利息及び受取配当金		△32,798	△42,424	△31,015
支払利息及び社債利息		239,204	248,471	310,149
投資有価証券売却損益		△5,157	△7,080	△108,760
関連会社株式売却益		—	△20,466	—
のれん償却額		480,968	466,045	811,024
減損損失		—	18,021	76,301
リース資産の増加額		△10,327,144	△8,164,567	△13,176,579
その他		△2,079,910	△1,969,588	△918,564
小計		1,128,280	3,334,910	3,416,531
利息及び配当金の受取額		26,254	33,916	20,913
利息の支払額		△219,081	△201,087	△298,776
法人税等の支払額		△634,694	△443,389	△689,533
その他		△30,197	63,397	△40,582
営業活動によるキャッシュ・フロー：		270,560	2,787,747	2,408,552
II：投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の払出による収入		58,000	40,000	58,000
有形無形固定資産(リース資産を除く)の取得による支出		△1,624,528	△852,007	△1,868,331
有形無形固定資産(リース資産を除く)の売却による収入		525,365	115,945	524,965
投資有価証券の取得による支出		△332,165	△16,571	△650,328
投資有価証券の売却による収入		12,290	14,730	345,291
関連会社株式の売却による収入		—	109,300	—
子会社株式の追加取得による支出		△122,053	—	△178,670
保険積立金の解約による収入		12,488	247,720	19,362
その他		△17,348	6,009	5,865
投資活動によるキャッシュ・フロー：		△1,487,951	△334,872	△1,743,845
III：財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額		△4,394,980	515,030	△6,249,010
コマーシャル・ペーパーの発行と償還による				
収支差額		4,000,000	1,500,000	2,500,000
長期借入れによる収入		8,661,305	5,879,609	9,094,606
長期借入金の返済による支出		△8,763,359	△8,266,946	△12,379,886
社債の発行による収入		1,879,101	387,067	7,141,244
社債の償還による支出		△2,260,000	△1,220,000	△3,720,000
株式の発行による収入		167,310	8,787	192,060
配当金の支払額		△256,475	△314,171	△256,475
自己株式の買取による支出		△144	△1,013,609	△230
少数株主からの子会社の自己株式の買入による支出		△394	△657	△562
財務活動によるキャッシュ・フロー：		△967,638	△2,524,889	△3,678,256
IV：現金及び現金同等物の増減額		△2,185,028	△72,014	△3,013,549
V：現金及び現金同等物期首残高		4,965,654	2,140,416	4,965,654
VI：連結範囲の変更による現金及び現金同等物の増減額		—	—	188,311
VII：現金及び現金同等物四半期末(期末)残高		2,780,626	2,068,402	2,140,416

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

(千円未満切捨)

	リース事業	自動車メンテナンス受託事業	燃料販売事業	ケミカル事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高	20,343,816	5,749,760	2,269,565	9,107,140	2,530,647	40,000,930	(△413,235)	39,587,695
営業費用	18,987,543	5,561,606	2,269,729	8,572,181	2,606,020	37,997,083	(△394,999)	37,602,083
営業利益	1,356,272	188,153	△164	534,958	△75,373	2,003,847	(△18,236)	1,985,611

前第3四半期（自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

(千円未満切捨)

	リース事業	自動車メンテナンス受託事業	燃料販売事業	ケミカル事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高	20,371,006	6,790,945	2,442,251	9,006,335	2,678,243	41,288,781	(△410,366)	40,878,415
営業費用	19,227,196	6,908,411	2,297,831	8,594,365	2,737,629	39,765,433	(△376,804)	39,388,629
営業利益	1,143,810	△117,465	144,420	411,969	△59,386	1,523,347	(△33,561)	1,489,786

(参考) 前期（平成19年3月期）

(千円未満切捨)

	リース事業	自動車メンテナンス受託事業	燃料販売事業	ケミカル事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高	27,027,339	9,133,769	3,240,067	11,912,518	3,640,710	54,954,406	(△547,946)	54,406,459
営業費用	25,384,832	9,220,693	2,981,187	11,332,181	3,719,559	52,638,453	(△498,089)	52,140,363
営業利益	1,642,507	△86,923	258,879	580,337	△78,848	2,315,953	(△49,856)	2,266,096

(注) 1. 事業区分は、取り扱っている商品及び役務の種類により区分しております。

2. 各事業の主な品目

- (1) リース事業 …自動車リース、機器及び各種動産のリース、レンタル業並びにリース満了車等の処分。
- (2) 自動車メンテナンス受託事業 …自動車メンテナンスの受託、自動車の点検、法定点検並びに整備等の自動車整備業並びに車体修理に関する総合管理受託業務。
- (3) 燃料販売事業 …石油燃料の販売及びガソリン給油カードの募集。
- (4) ケミカル事業 …ケミカル製品（自動車用、機械・設備用、工業用等）の製造・販売。
- (5) その他事業 …卸売自動車用品の販売業務、中古車の販売業務（リース事業並びに自動車メンテナンス受託事業に該当するものを除く）、損害保険代理店業務、コイン駐車場運営、不動産の賃貸及び管理、産業用工作機械の製造・販売並びに車両修理に関する共済商品の販売。

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

4. 5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他（4）に記載のとおり、当連結会計年度より、法人税法の改正に伴い、社用設備にかかる固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。

なお、この変更による事業の種類別セグメント情報への影響は軽微であります。